

2023 年度 第 1 回 SIC 理事会（2023 年 3 月 14 日）

2023 年 2 月 28 日

2023 年度 第 1 回理事会 議案書

開催日時：2023 年 3 月 14 日（火） 13:00～14:30

開催方法：実会場出席とオンライン出席によるハイブリッド審議・決議

（会場：東京都新宿区西新宿 8 丁目 17-1 住友不動産新宿グランドタワー-5F 会議室）

議事

議題 1：SIC 役員の交代について（報告事項）

- ・ 定期社員総会にて選任された交代役員の紹介。

（提案資料）：

総会提出 2023 年度役員名簿

議題 2：実行委員の選任（承認事項）

- ・ 2023年度SIC実行委員会委員の選任を承認する。

（提案資料）：

2023 年度 SIC 実行委員会メンバー表

議題 3：2023 年度の SIC の活動の方針と計画、および、予算案について（審議事項）

- ・ 2023 年度 SIC 活動計画に基づいて、2023 年度予算案と主な行事等を、審議、確認する。

（提案資料）：

2023 年度 SIC 活動計画

2023 年度 SIC 予算案

（参考資料）：

2022 年度決算表

2022 年度監査報告

議題 4：SIC 戦略提言発出活動について（報告事項）

- ・ SIC 戦略提言発出活動について報告し、進め方への意見を求める。

（附）2022 年度第 2 回理事会議事録

以上

2023 年度 第 1 回 SIC 理事会（2023 年 3 月 14 日）

議題 1：SIC 役員の交代について（報告事項）

総会提出 2023 年度役員名簿

一般社団法人システムイノベーションセンター 2023 年度役員（理事・監事）候補

2023/3/14

	選任区分	氏名	所属	役職等
1	代表理事・センター長	浦川 伸一	損害保険ジャパン株式会社	取締役専務執行役員 CIO
2	業務執行理事（会計担当）・副センター長	木村 英紀		東京大学名誉教授 大阪大学名誉教授
3	業務執行理事（総務担当）・実行委員長	松本 隆明	元 独立行政法人情報処理推進機構	元 顧問
4	業務執行理事（学術担当）・学術協議会主査	青山 和浩	東京大学大学院	工学系研究科・人工物工学研究センター 教授
5	理事	齊藤 裕	独立行政法人情報処理推進機構(IPA)	デジタルアーキテクチャ・デザインセンター長
6	理事	島田 太郎	株式会社 社東芝	代表執行役社長 CEO
7	理事	谷崎 勝教	株式会社 三井住友銀行	専務執行役員
8	理事	服部 正太	株式会社 構造計画研究所	取締役 代表執行役会長
9	理事	人見 光夫	マツダ株式会社	シニアフェローイノベーション
10	理事	水落 隆司	三菱電機株式会社	執行役員 ビジネスイノベーション本部 副本部長
11	理事	古田 英範	富士通株式会社	代表取締役副社長 COO
12	理事	舩生 幸宏	横河電機株式会社	常務執行役員 (CIO)
13	理事	久間 和生	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	理事長
1	監事	舩橋 誠壽	特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合	(元) 理事

(参考)

1	顧問	立松 博史	株式会社野村総合研究所	専務執行役員
---	----	-------	-------------	--------

2023 年度 第 1 回 SIC 理事会（2023 年 3 月 14 日）

議題 2：実行委員の選任（承認事項）

(提案資料)：

2023 年度実行委員会メンバー予定者

NO	区分・役割	所属	氏名	補足説明
1	実行委員長	元（独）情報処理推進機構	松本 隆明	SIC 理事
2	実行委員（広報）	株式会社構造計画研究所	中野 一夫	正会員
3	実行委員（正）	SOMPOシステムズ株式会社	藤井 紳也	正会員
4	実行委員（副）	SOMPOシステムズ株式会社	五味 史充	正会員
5	実行委員	株式会社野村総合研究所	藤野 直明	正会員
6	実行委員(正)	富士通株式会社	栗津 正輝	正会員
7	実行委員(副)	富士通株式会社	宮前 義彦	正会員
8	実行委員(副)	富士通株式会社	浦田 敏	正会員
9	実行委員	マツダ株式会社	川西 博実	正会員
10	実行委員	三菱電機株式会社	長堀 将孝	正会員
11	実行委員	三菱重工株式会社	澤野井 明裕	正会員
13	実行委員(正)	株式会社東芝	田島 正憲	正会員
15	実行委員(副)	株式会社東芝	小平 直朗	正会員
16	実行委員	横河電機株式会社	牧野 泰丈	正会員
17	実行委員(正)	日立製作所研究開発グループ	加藤 博光	正会員
18	実行委員(副)	日立製作所研究開発グループ	古屋 聡一	正会員
19	実行委員	東京大学	青山 和浩	学術会員
20	実行委員(産学連携)	千葉商科大学	寺野 隆雄	学術会員
21	実行委員(産学連携)	早稲田大学 研究員	新谷 勝利	個人会員
22	実行委員(広報)	東芝デジタルソリューションズ株式会社	大道 茂夫	個人会員
23	実行委員	(公社)日本工学会	高木 真人	個人会員
24	実行委員	RRI アドバイザー	水上 潔	個人会員
25	実行委員	元 横河電機	白井俊明	個人会員
26	実行委員	SIC 事務局長	出口光一郎	事務局員
	SIC 事務局	SIC 事務局次長	久保 忠伴	事務局員

・実行委員は、定款第 33 条 3 項にもとづき、選出されたもの。

2023 年度 第 1 回 SIC 理事会（2023 年 3 月 14 日）

議題 3：2023 年度の SIC の主な行事と関連のスケジュールの確認

（提案資料）：

2023 年度 SIC 活動計画

2023 年度予算案

（附）2022 年度決算書

SIC 2023 年の主要な活動予定

2023 年は SIC 設立後 5 年目に当たる。これまで蓄積してきた分析、知見、外部発信をベースに、依然として進まない日本の産・官・学におけるシステム化を推進する突破口を切り開くために、一層の努力を集中的に行う時期が来ている。

2022 年には 3 つの分科会が終了し、報告書と提言が発信された。「システムヘルスケア分科会」の報告書は DADC を通して経産省に伝えられ、発信力のある提言として評価された。「システムモビリティ分科会」の報告書も DADC との打ち合わせを経て外部発信のプロセスにある。「デジタルエコノミー分科会」の報告書も正式に HP に掲載されている。

一方、「流通とシステム化分科会」が新しく設立され活発な活動を行っており、海外の SCM の実情調査を精力的に実施中である。昨年の第 1 回理事会で決まった SoS 分科会も東京大学の藤田教授を主査として正式に発足し、活動を開始しつつある。

昨年の夏に行った大規模な会員企業へのアンケートは、会員の生の声を聴くための確実な情報源となった。回収率は 90% という驚異的な数字であり、会員企業の関心の高さがうかがわれた。このアンケート結果はシステム化の生の声をボトムアップで伝えた価値ある記録となっている。

昨秋から開始した戦略提言策定のための「戦略フォーラム」はすでに 12 回開催し、各分野の有識者 13 名の貴重なご意見を伺った。この戦略フォーラムの聴講者は延 500 人に達しており、戦略提言のための情報が蓄積されたと考えられる。また人財育成では、一昨年の理事会で決定された通年の「現代システム科学講座」が実施され、70 名を超える聴講申し込みを得て順調に進行し、今年 1 月に完結した。出席率の高かった聴講生 66 名には修了証明書を発行した。聴講生へのアンケートの結果は大変好評で、何らかの形で継続的な実施が期待されている。システム化の人財育成の新しい試みとしてこの分野にインパクトを与えることが出来たと思われる。

2023 年度はこれまでのフォーラム開催、ニュースレターの発刊、人財育成のための各種講習会の開催などの活動を続けると同時に、現在以上に SIC の存在感を増すような外部発信を強化したい。そのため、前センター長の齊藤氏がセンター長に就任されている DADC との連携をさらに強化し、SIC の活動の奥行きを広げ、その目標の社会実現を具体的に図っていく道を探りたい。

具体的には以下のような新しいイベントを計画している。

（１）「SIC システム化戦略提言」の発出

2023年度 第1回 SIC 理事会（2023年3月14日）

中長期計画の一環として、今の日本で欠けている、あるいは十分でないシステムを列挙し、その構築の必要性和具体的な構築戦略を提言する。この発信は「システム化推進シンポジウム」のようなかたちでメディアにも発信し、同時に関連省庁にも届ける。可能であればこのシンポジウムに米国と中国の関係者を呼んだ国際的なものとしていきたい。この提言策定の過程で現在各省庁が運営している「官民連携プラットフォーム」にSICとして加入し、提言の実施を促す媒体と同時に、官民共同事業にシステムの視点を強化するための活動の場としていきたい。

（２） シンポジウム：ロジスティックスのシステム化を目指して

ロジスティックスは最もシステム化の真価が問われる分野であり、日本では海外に比べて著しくシステム化が遅れている分野である。また同時に、SIC が強みを持つ分野である。ロジスティックスにかかわる多くの分野の専門家を集め、そのさまざまな側面を取り上げ、システム化の妨げとなっている要因を掘り下げ、今後の推進の有効な戦略を探る。

（３） 「システム人交流会」の実施

システム化の人財育成イベントに出席した人に「システム人」の称号を与え、システム人相互の交流を促進することを目的としたイベントである。2年前から企画・予定されてきたが、コロナ禍によって実現が阻まれてきた。今年こそはそれを実現したいと思っている。

（４） 「ケーススタディ講習会」の連続化、恒常化

現在、人財育成協議会で企画されているこの講習会は、「システム化」を実際のシステム構築の場で追体験し、広範な分野にまたがるシステム化の技術とノウハウの追体験を通して学ぶための新しい人財育成の方策である。これを実施するには、実システムを教材として提供して頂くことが必要となる。この講座の実施に当たって最も大きなバリアーがこの部分である。今年は全体的な視点から積極的に材料となるシステムを提示して頂けるような仕組みを、官・産・学の協力によって作り上げることに挑戦したいと思う。

（５） 新しい職種としての「システムマネージャー」の提案とそのスキルセットの提示

一定以上の規模のシステムには、その構築・運用・進化に全責任を負う「システムマネージャー」を置くことを提案したい。現状ではシステムの運用の責任は、ベンダー、事業会社のシステム部、監督官庁、ユーザーなどに分散し、問題が生じた時の責任母体がハッキリしないだけでなく、システムにかかわるスキルの蓄積を体現する組織もあいまいである。この点を補うためにこの職種を提案する。「プロジェクトマネージャー」の責任範囲を拡大し、同時にその権限を強化したものと考えてもよい。人材育成協議会では「システムマネージャー」のスキルセットの提示とその養成のためのプログラムの検討を行う。

以上

2023年度 第1回 SIC 理事会（2023年3月14日）

システムイノベーションセンター2023年度予算

2023年度 定時社員総会資料

2023年2月21日

■収入予算

項番	収入科目	会員数	2022年度実績	2023年度予算	備考
	(1) 年会費収入				
1	・正会員	26 社	¥17,200,000	¥14,600,000	会員増 新規込み 3 社(2 口)
2	・学会会員	46 名			
3	・個人会員	10 名	¥45,000	¥50,000	
4	会費収入 小計		¥17,245,000	¥14,650,000	
5	(2) 受託収入(公的機関からの調査委託費)		¥0	¥0	
6	(3) 講習会等参加費(会員外からの収入含む)		¥2,992,000	¥1,350,000	研修講座 その他参加費収入
7	(3) 共同研究実施費用				
8	(4) 利息		¥251		
9	会費以外の収入 小計		¥2,992,251	¥1,350,000	
10	当期 収入総計		¥20,237,251	¥16,000,000	

■実行予算

項番	支出科目	2022年度実績	2023年度予算	備考
11	(1) 事業費 小計	¥6,629,340	¥17,420,000	
12	・総会運営		¥350,000	ハイブリッド
13	・理事会・戦略委員会 運営費	¥682,093	¥300,000	ハイブリッド
27	・SIC特別調査費		¥5,000,000	
32	・SIC 戦略提言書 作成・配布		¥500,000	
25	・システム化シンポジウム運営費	¥0	¥1,500,000	
14	・実行委員会 運営費	¥0	¥100,000	1 回は、対面会議を実施
15	・分科会・WG・人材育成協議会の運営費			
16	分科会謝礼	¥211,839	¥600,000	3 つの分科金を想定
17	活動費(調査委託費)	¥0	¥1,500,000	流通とシステム化、SOS分科会等の活動費
18	・SIC 活動成果発表会 3 分科会報告会	¥0	¥500,000	
19	・ケーススタディによるシステム構築講習会	¥0	¥1,200,000	ケース事例 3 件
20	・システム塾運営費	¥0	¥500,000	年 1 回
21	・システム人交流会	¥52,800	¥800,000	会場(対面実施)
22	・研修講座 講習会開催費	¥3,029,382	¥1,500,000	
23	・SIC産学交流会運営費	¥0	¥100,000	年 2 回
24	・SICフォーラム運営費 戦略フォーラム	¥1,012,960	¥500,000	
26	・経営者研修講座 パネルディスカッション	¥94,000	¥1,000,000	2023年度 2/1 開催
28	・広報活動 ニュースレター発行、HPによる情報発信、その他	¥437,550	¥500,000	
29	・広報資料(パンフレット等)作成費	¥557,450	¥200,000	
30	・広報強化(プレス発表、Youtube等)による	¥33,000	¥100,000	
31	SICの広報誌	¥46,000	¥200,000	
33	・外部団体との連携活動の強化	¥0	¥100,000	
34	・SIC活動のシステム化(デジタル化) 情報基盤の高度化 (Teams契約、ZOOM、Adobe 等のソフト活用追加整備)	¥245,666	¥300,000	
35	・租税公課	¥226,600	¥70,000	
36	(2) 管理費 小計	¥8,902,258	¥9,175,000	
37	・事務所 賃賃・共益費	¥3,115,969	¥3,240,000	
38	・人件費	¥5,201,912	¥5,200,000	
39	・事務管理の充実(備品類の整備等)	¥269,320	¥200,000	
40	・事務所 消耗品、その他諸経費	¥124,067	¥150,000	
41	・保守費	¥26,400	¥60,000	
42	・旅費・交通費 国内/海外	¥660	¥50,000	
43	・郵送費	¥34,640	¥150,000	
44	・通信費	¥66,681	¥60,000	
45	・雑費	¥35,824	¥30,000	
46	・振込手数料	¥26,785	¥35,000	
47	(3) 予備費	¥0	¥900,000	
48	実績及び実行予算計	¥15,531,598	¥27,495,000	
49	当期収支損益	¥4,705,653	(¥11,495,000)	収支の不足分は繰越金を充当する

■繰越金 期末正味財産

項番		2022年度	2023年度	
50	期首残高	¥20,395,936	¥25,101,589	
51	収支額	¥4,705,653	(¥11,495,000)	
52	繰越金 期末残高	¥25,101,589	¥13,606,589	

2023 年度 第 1 回 SIC 理事会（2023 年 3 月 14 日）

（附・参考） システムイノベーションセンター第4期決算書

2022年度定時社員総会資料

2022年1月1日～2022年12月31日

2023年2月21日

■収入予算

項番	収入科目	会員数	当初予算	期末実績	差異	備考
	(1) 年会費収入					
1	・正会員	31 社	¥17,200,000	¥17,200,000	0	
2	・学会会員	46 名	¥0	¥0	0	
3	・個人会員	8 名	¥40,000	¥45,000	5,000	
4	会費収入 小計		¥17,240,000	¥17,245,000	5,000	
5	(2) 受託収入（公的機関からの調査委託費）		¥0		0	
6	(3) 講習会等参加費（会員外からの収入含む）		¥1,000,000	¥2,992,000	1,992,000	
7	(4) 共同研究実施費用		¥0	¥0	0	
8	(5) 利息			¥251	251	
9	会費以外の収入 小計		¥1,000,000	¥2,992,251	1,992,251	
10	収入総計		¥18,240,000	¥20,237,251	1,997,251	

■実行予算

	支出科目	当初予算	期末実績	差異	備考
11	(1) 事業費 小計	¥22,400,000	¥9,571,731	▲ 12,828,269	
12	・総会運営	¥300,000	¥61,080	▲ 238,920	
13	・理事会・戦略委員会 運営費	¥200,000	¥41,500	▲ 158,500	
14	・実行委員会 運営費	¥100,000	¥0	▲ 100,000	
15	・分科会・WG・人材育成協議会の運営費 6500000			0	
16	謝礼	¥2,500,000	¥841,005	▲ 1,658,995	
17	活動費	¥4,000,000	¥3,596,455	▲ 403,545	
18	・ケーススタディによるシステム構築講習会	¥1,500,000	¥738,720	▲ 761,280	
19	・システム塾運営費	¥500,000	¥0	▲ 500,000	次期持越し
20	・研修講座 講習会開催費	¥1,500,000	¥742,982	▲ 757,018	
21	・SIC産学交流会	¥800,000	¥350,295	▲ 449,705	
22	・SICフォーラム運営費	¥800,000	¥102,284	▲ 697,716	
23	・SIC国際シンポジウム運営費	¥4,000,000	¥0	▲ 4,000,000	次期持越し
24	・経営者研修講座 パネルディスカッション	¥3,000,000	¥823,750	▲ 2,176,250	
25	・木村副センター長 IEEE受賞記念講演会		¥144,900	144,900	
26	・広報活動 ニュースレター発行、HPによる情報発信、その他	¥800,000	¥362,218	▲ 437,782	
27	広報資料（パンフレット等）作成費	¥600,000	¥580,250	▲ 19,750	
28	動画等による広報強化（Youtube等）	¥800,000	¥0	▲ 800,000	
29	SICの広報誌発刊	¥300,000	¥299,796	▲ 204	
30	・SIC書籍発刊		¥353,378	353,378	
31	・外部団体との連携活動の強化	¥100,000	¥0	▲ 100,000	
32	・SIC活動のシステム化(デジタル化情報) 基盤の高度化 (HP、Teams契約、ZOOM、MIRO 等のソフト活用、 メーリングリストの追加整備)	¥600,000	¥333,118	▲ 266,882	
33	・租税公課		¥200,000	200,000	
34	(2) 管理費 小計	¥10,071,748	¥9,224,443	▲ 847,305	
35	・事務所 賃貸・共益費	¥3,240,000	¥2,972,857	▲ 267,143	
36	・人件費	¥5,000,000	¥4,970,065	▲ 29,935	
37	・事務管理の充実（備品類の整備等）	¥300,000	¥899,502	599,502	
38	・事務所 消耗品、その他諸経費	¥200,000	¥143,103	▲ 56,897	
39	・保守費	¥120,000	¥55,000	▲ 65,000	
40	・旅費・交通費 国内/海外	¥1,000,000	¥13,140	▲ 986,860	
41	・郵送費	¥50,000	¥81,229	31,229	
42	・通信費	¥120,000	¥43,519	▲ 76,481	
43	・雑費	¥41,748	¥9,068	▲ 32,680	
44	・振込手数料	¥0	¥36,960	36,960	
45				0	
46	(3) 予備費	¥1,400,000	¥0	▲ 1,400,000	
47	実行予算計 支出	¥33,871,748	¥18,796,174		
48	当期収支	▲ 15,631,748	▲ 441,164	15,190,584	

■期末正味財産 繰越金

49	2020年度 繰越金	¥20,531,748	¥20,837,100	
50	2021年度 収支額	▲ 15,631,748	▲ 441,164	
49	期末残高(繰越金)	¥4,900,000	¥20,395,936	

2023 年度 第 1 回 SIC 理事会（2023 年 3 月 14 日）

2022 年度監査報告

2023 年 2 月 27 日

一般社団法人システムイノベーションセンター
代表理事・センター長 浦川 伸一 殿

一般社団法人システムイノベーションセンター

監事 白井 俊明

監事 船橋 誠壽



2022 年度（令和 4 年度）監査に係わる報告について

2022 年度の一般社団法人システムイノベーションセンターの業務及び会計について監査を実施しましたので、下記のとおり報告いたします。

記

1. 監査方法

監事は、社員総会、理事会、その他重要な会議に出席するとともに、主な発行文書、会計書類等を閲覧しました。また、主な業務執行理事、事務局長から当法人の運営状況について聞き取りを行い、意見交換のうえ業務監査を実施しました。

2. 監査の結果

2022 年度は当法人設立 4 年目で新たに設定した第二期中期計画の初年度でしたが、コロナ禍が前年度に引き続き活動に影響を及ぼし、事業計画通りの活動を実施することはできませんでした。その環境下においても、活動のオンライン化・ハイブリッド化など工夫をこらし、効果的な組織運営に取り組まれてきたことが認められます。また戦略フォーラムを新たに企画し、戦略提言の発信に向けた議論を進められたことは特筆できます。

- (1) 事業報告書は当法人の業務運営状況を正しく示していると認めます。
- (2) 決算報告書は当法人の財産及び損益の状況を正しく示していると認めます。

ただし、次の事項については、今後の改善が求められます。

- (1) 文書管理の仕組みに不十分な点がいくつかみられ、発行文書の保管・閲覧性に改善の余地が残されています。

以上

議 題

- 1) 役員交代の件 【普通決議事項：第1号議案】
- 2) 2022年度 事業報告及び決算の承認の件 【普通決議事項：第2号議案】
(含：2022年度監査報告)

添付資料

- 2a) 2022年度事業報告
- 2b) 2022年度決算書
- 2c) 決算報告書(貸借対照表)
- 2d) 決算報告書(正味財産計算書)
- 2e) 決算報告書(附属明細書)
- 2f) 監査報告書

- 3) 2023年度事業計画及び予算の報告の件 【報告事項】

添付資料

- 3a) 2023年度事業計画
- 3b) 2023年度予算書

- 4) SIC戦略提言発出活動の件 【報告事項】

添付資料

- 4a) SIC戦略提言前書き（ドラフト）
- 4b) SIC戦略提言の工程について
- 4c) SIC戦略提言の構成割当て

- (附) システムイノベーションセンター 2022年度現況

- a1) 会員の状況
- a2) 正会員
- a3) 学術協議会
- a4) 戦略委員会
- a5) 実行委員会
- a6) 人財育成協議会